

女神さま陵辱 2



野々村秀樹

ADULT ONLY/NOT FOR SALE TO PERSONS UNDER 20 YEARS OLD.

森里螢一
ベルダンナイト
共に家を出て

夢の
メイドライフが
お寺で始まって
はや数日



今日も
一日が
始まった







慢れません

でも
いまだに

はあ



難しいです

喉奥まで
蜚一様の
太いモノを
入れながら

御満足
いたたけるように
舌を使うのは

ん

ん

ん

ん

はあ

はあ



いいか
射精しても
まだ飲むなよ

わかってるな
バルザンデー



飲むのは
俺の許しを
得てからだ

螢一様の
先から
ほとばしる
白い液には



いまだに
耐えられません

よし、
口をあけて
みせろ

鼻をつく
液臭……

今日も
いっぱい
出したなあ

どろろ
お



その
青臭い味……

グッ
グッ
グッ

なま温い
精液の感触

舌に
ねっとり
からみつく

ほら
よく味わえよ

ぬちゃ
ぬちゃ

なににより
耐えられない
のは——
ぬちゃ
ぬちゃ

申しわけ
ありません
虫一樣

だから
今なに
一滴もこぼさず
飲み込むとは
いかないのです

あーあ
今日も
こぼしたのか
だめじゃないか

げほっ
げほっ





ふう……

それにしても……

今月の
残金
520円
也……

仕送り
まで

あと
一週間

16-2-10	0-10	10,000	0.910	1022
16-2-13	0-10	5,000	3,520	890
16-2-15	0-10	5,000	1,520	890
16-2-17	0-10	2,000	520	
16-2-18	0-10	1,000		
16-2-21	0-10			
16-2-24	0-10			



今月は
大人の
オモちゃやらで

ずいぶん
出たからなあ



講義サボって
バイトっても
なあ
ベルダンディーに
ウリでも
させろか

そんな！
お許しくたさい
螢一様





しかし意外だなー
蛭ちゃんが
外人と同棲してる
なんて

うるせーな

くそっ 他の
バラ色メイドライフに
ジャマが入ったぜ



あたし
蛭ちゃんの
妹の
森里めぐみと
申します



あのおさ
蛭ちゃん
こんな物が
あるんだけど



めぐみの
大学受験の
一週間分の
宿泊費です

なに!?



おおっ
よん
まんえん



生活費ゲットは
嬉しいけど
くそっ
これからじっくり
調教をたのしもうと
思ってたのに
とーぶん
おあずけかあ

ん?
まてよ

いやっ



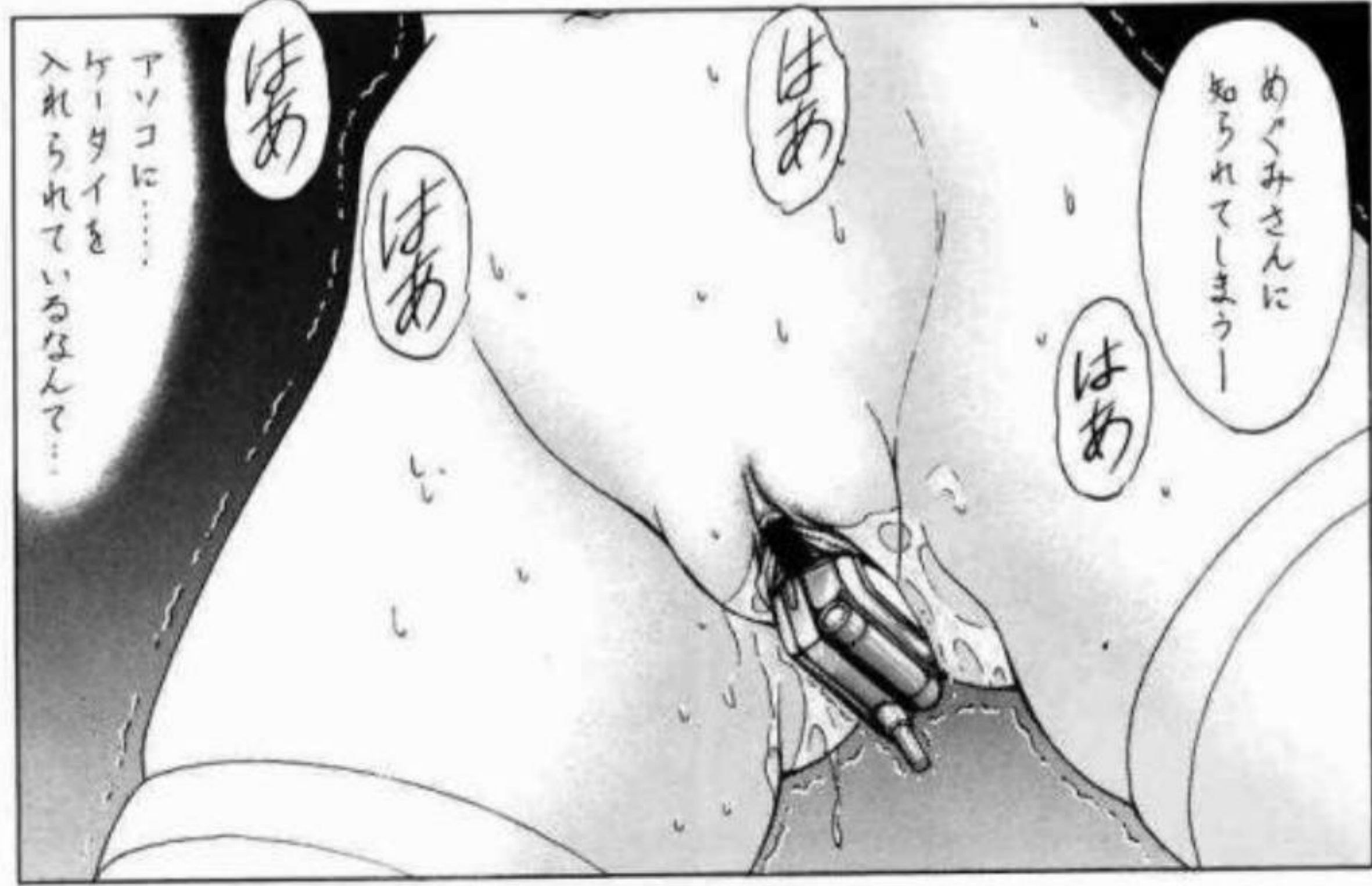
ベルゲンディー
さっき
ゲームンうまく
飲めなかった
お仕置きはまだ
だったよな

罰として
めぐみの勉強を
みてやるんだ



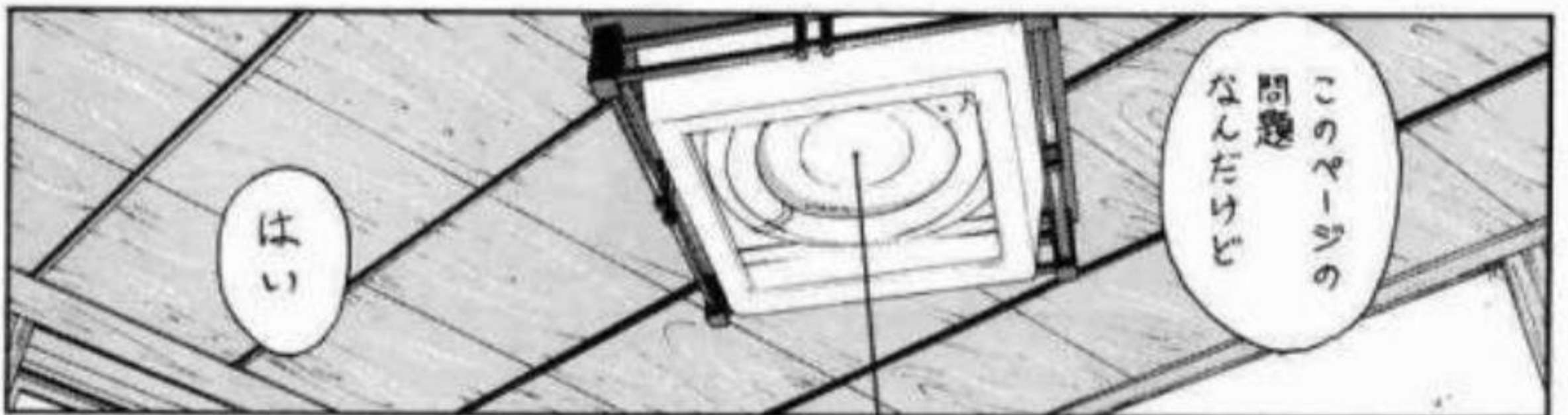
だめ……
しっかり
しなければ……

いつもの通りに
ふるまうのよ



めぐみさんに
知られてしまおうー

アソコに……
ゲータイを
入れられてるなんて……





あああ……ッ
そんなッ!!

ぎゅる
ぎゅる
ぎゅる

パイア機能が……
ああッ……
奥で……
震えてる

ど、どうしたの
!?

い、いえッ
なんでも
ありませんわ

ひどい
螢一様

キータイを
かけてくる
なんて……!!

止めてッ
おねがいッ

ああ……
しっかり
するのよ
マルヤンディー

よろ……

こらえなぎや
ヘンに
思われてしまう

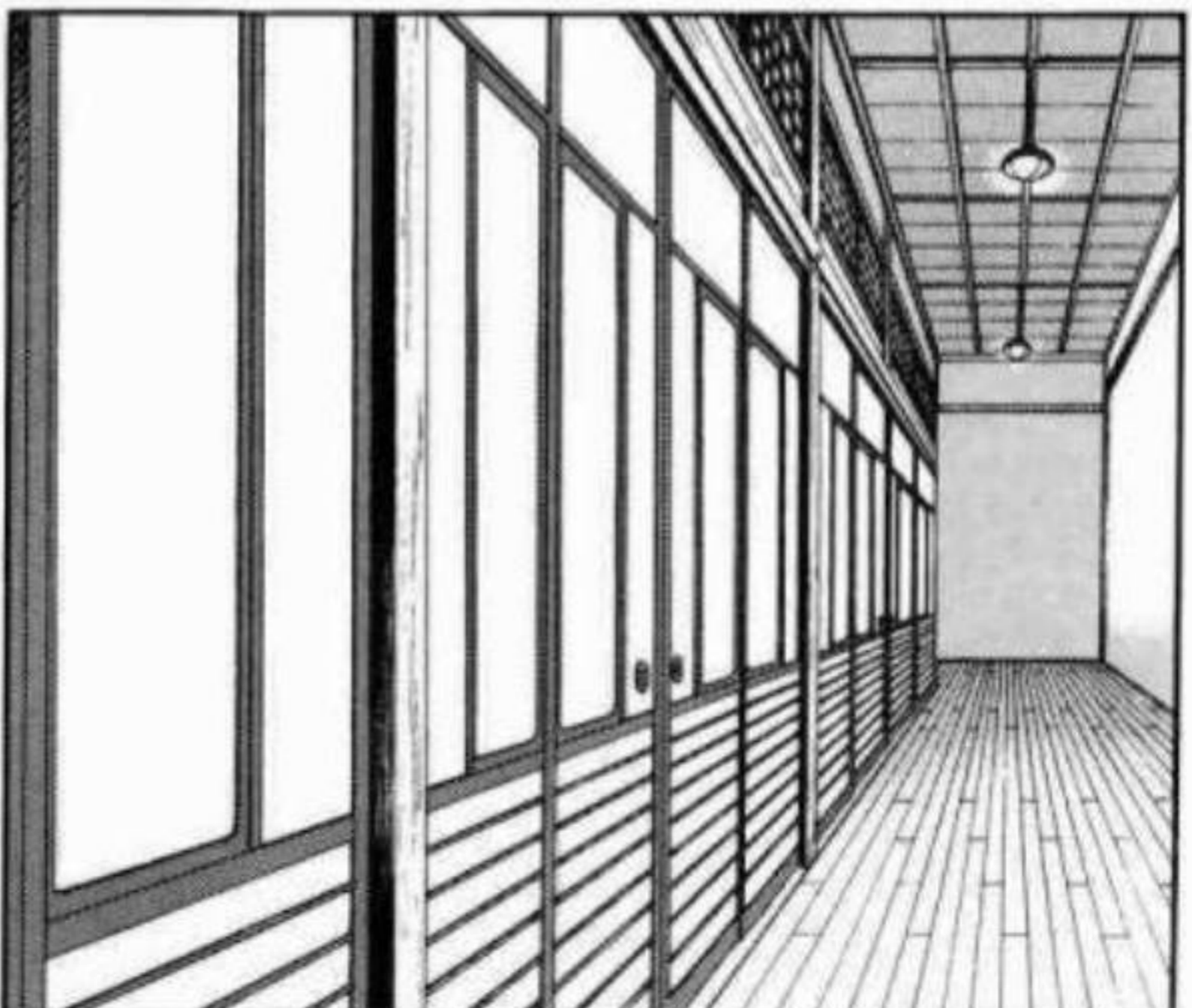
なんでもない
フリを……

ああでも
あの目！
疑ってる？

あやしんでる
？

何か
おかしいって
感じてる？

















こんなふうには...
いじめられたい...



体が...
ほてるの...

でも
ころえきれない



ここに
蜜一様の
手が欲しい...

ああっ
ここも



ああ...私...
なにしているの...
なぜ...
どうして...
自分で...
こんな
いやらしいこと...

私...
はしたない...
どうかしてますわ...

でも...
いい...
気持ちいい...

ああ...
蜜一様...
...もっと...激しく
かきまわして...

指を奥まで
激しく...
入れてッ...

もっと...
もっと...!!



ああっ

いいっ...





ほじるモノが
欲しい……

えぐって
満して
くれるモノが……



ああ
私
どうしたの

欲しい

アソコが
熱くて
うずいて……

たまらない



ためよ
何を考えて
いるの……

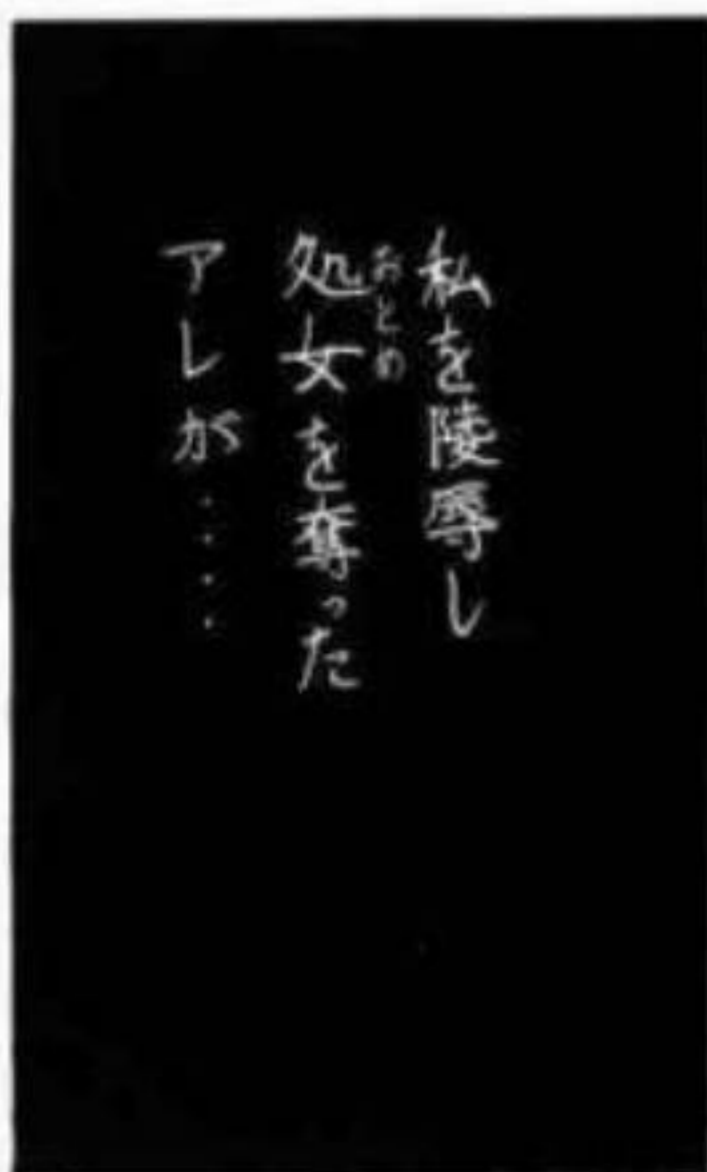
はしたないわ
私……
いやらしいのよ
女じゃないのよ



ああ……



でも……



私を陵辱し
処女を奪った
アレが……



アソコ……
蝨一様の
アソコ……あんなに
ふくらんでる

アソコに……
蝨一様の……
太くて固い
熱いモノが

あ……
おねがいます
螢一様

私の
オマ○コに

……

ああ……私……
なにしているの……

螢一様の
熱い肉棒を
入れてください

自ら
脚を広げて
ねだるなんて……

ああ……でも……
アソコが……欲しくて……
ドワンドワンするの
こらえられない



んあッ!

ああ...
私...ッ

ああ、自分から
私のアソコに
蝨一様の...
熱くて固くて
太いモノをッ!!

うあッ

あッ

飲み込んで...
!!

はッ

ああッ



自分から
こんな...!!

奥まで
杭のように
深く...ッ



ほら、
動けよ
欲しいんだろ

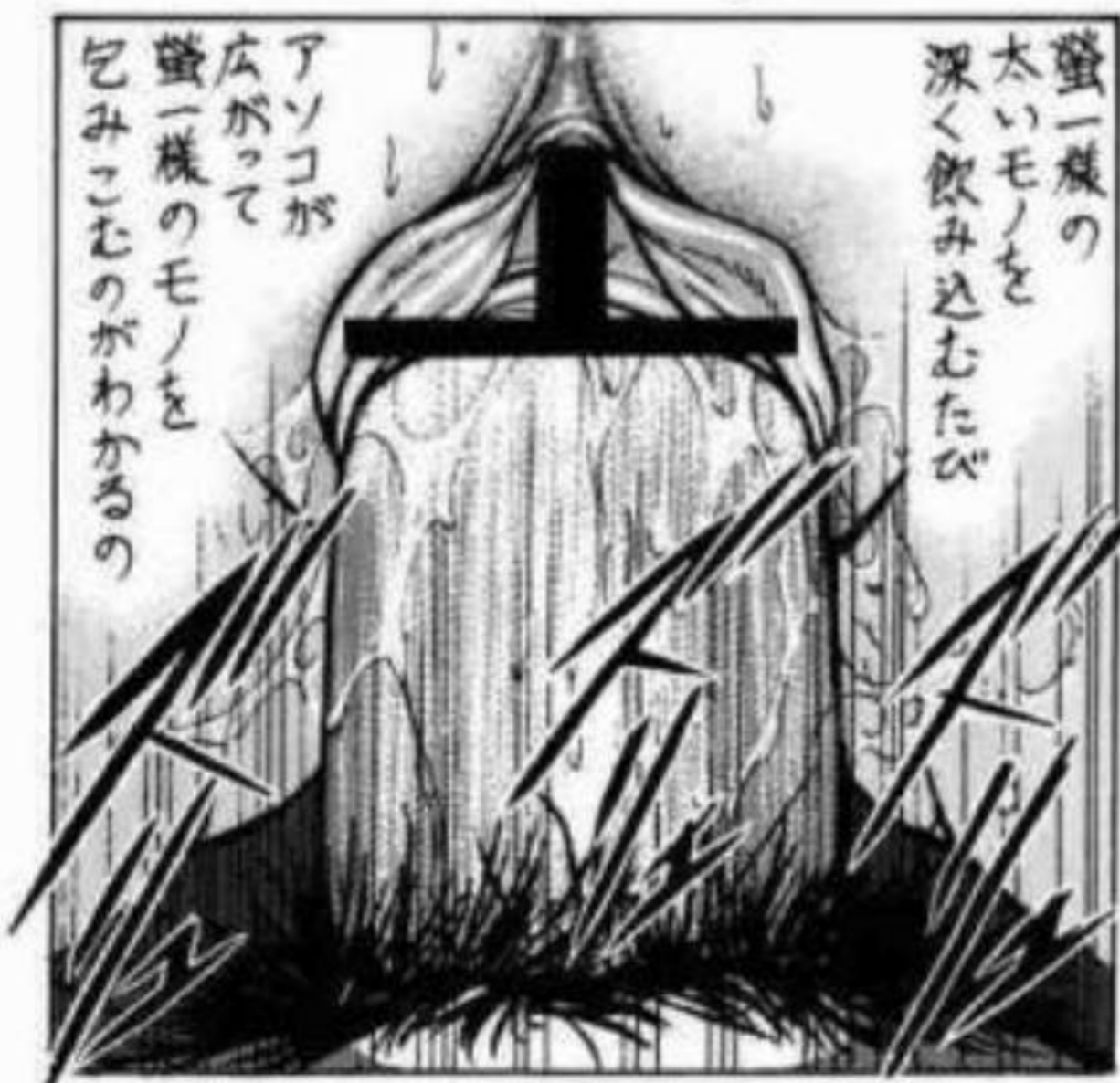
あー
あー

あー

あー

ああ、でも
……
いいっ
いいっ
気持ちいいっ

アソコ
いいっ



蝨一様の
太いモノを
深く飲み込むたび

アソコが
広がって
蝨一様のモノを
飲み込むのがわかるの



アソコ
きつきたのに
動きたびー

中のヒゲが
こすれるたび
……感じる



声
めぐみに
聞こえるよ



い
い
っ



ダメッ
声を出しちゃ
ダメッ

だめえッ

はしたない……

ん
ん

私……こんな
自分から

腰を
動かして……

螢一様の……
アレをアソコに
自分から
くわえ込んでる……
いやらしい……

私……っ

いざいざ……っ

でも

とまらない……

とまらないのあつ

んっ

んんっ

んんんっ

アソコ熱いっ……

ぐちゃぐちゃ
いってる

こすれてるっ



うわっ
すごっ

そりゃあ
同棲してるん
だから
とーせんだけと

妹が泊まりに
きてんのに
それも
昼間・から

...あ
やだ...
変な気分
なってきた

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



はあ

はあ

はあ

はあ

くっ

はあ



ああ...

...感じる

はあ

はあ

手が...
止まんない
よ



いやらしし…
 あたし…
 螢ちゃんの
 エッチ見ながら
 オナるなんて

ヘルタンディー
 すさい…



あんな
 清纯そうな顔して
 自分から
 腰つかって…



アレって
 いいのかな

そんなにも
 いいのかな



ベルダンディー
あんなに
自分から
出し入れしてる

男の人の
アして
エッチするって
そんなに
いいのかな……

ああ……っ



いけない！
声出しちゃ
だめだ

はあ

はあ

のぞいて
るの
バレちゃう
よ



声……

出しちゃ……

だめ……っ

はっ

はっ

んっ

ん

んん

だめようっ

んあ



—女
オカマさん??

女神なのよ
バルタンデー
なのよ……

こんなに
コリコリに
固くして……
いじくって……

気持ちいいっ



あ

あああ
ああ

もうだめ

あ

こらえられ
ない……

女神でも
気持ちいい!!

お願いです
盗一様……ッ

私……私……
もっと……
気持ちよく
なりたい……!!

ああ
……私ッ

私……もっと
激しいのが
欲しいんです

突いて
欲しいんです



この間の質問
バーンバァンバァン

もう
犯られたくて
おねだりかよ

どんな
マオコ
してんだ?



ははっ
ナカ肉が
いやらしく
ヒクッヒクッ

清純そうな顔して
とんだ
淫乱マオコの持ち主
なんだな
ベルダンディーは



やだ...エッキ
ベルダンディー
そんなコト
してたんだ



なにしろ
ケイタイ
マオコに突っこんで
めくみの前で
マン汁たれ流してた
くらいだもんな



こらえて
たんだ...

はあ

はあ

やらしいよ
ベルダンディー



あたしも...

はあ

はあ

やらしい



はあ

はあ

はあ

あたしみたい
に
バレないよう
必死に
こらえてたんだ

くちゅ

くちゅ

くちゅ



知ってるか

ベルダンディーの
ような
淫乱な女をさ

はあ

はあ

はあ

はあ

70
70
70
3
3
3

メス犬って
いうんだぜ





ほら、
鳴いてみる
メス犬

ワンッ!

ひどい...

お尻が
ズキズキ
うずく...

シッポだなんて...

シッポだなんて...



いいえ！
私は
メス犬なんかじゃ
ないわ！



どうした

コイツが
欲しく
ないのか



メス犬
なんかじゃ...

……ワーン……

しっぽが
動いて
ないぞ

ワーン

ワーン

ワーン

ワーン

ワーン

ワーン

シッポッ
これが私の
シッポッ……

ああッ…… あうッ……
私、シッポ……
自分で突きたててる？

いばい
いばい
ズブズブに
突きたててるッ

なにしているの!?
どうかしてる!!

いやあッ
私……ッ

突きたててる

まるで
メス犬……

自分から
墮ちるの?
これでいいの?

あああ……
でも……いッ……

シッポがあッ
気……持ち……い……ッ

ワーン



ようし
おまちかねの

ごほうび
だ

味わえよ
メス犬



墜ちてく
私...ああ...
墜ちてく...

私...
メス犬なの?...
...

メス犬...ッ
そんなはず
ないわ...



ああでも...



感じる...の...
私のほかに
薄い肉壁を
へたてて

蠟一様の
アレと...
お尻のミッポが
...
こすれ合ってる...
ブリーブリー
ぶっつき合ってる...

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

あああ

はっ

いっ...!!



いっ...
しっばいよあ...
こんなゴトするのって
メス犬なんだ

ああ...
あたしも
メス犬になっちゃったよか
蠟ちゃん...

いっ...!!

メス犬で
いっ...









